

令和 3 年度入学者選抜学力検査問題

(前期日程)

総 合 問 題

学類によって解答する問題が異なります。

指定された問題だけに解答しなさい。

学 域	学 類	解 答 す る 問 題
融 合 学 域	先導学類(文系傾斜)	I, II (2 問)
人間社会学域	人 文 学 類	I, III (2 問)
	学 校 教 育 学 類	I, IV (2 問)
	国 際 学 類	I, V (2 問)
文 系 一 括 入 試		I, II (2 問)

(注 意)

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は本文 22 ページです。答案用紙は、先導学類(文系傾斜)、人文学類、学校教育学類、国際学類、文系一括入試は各 2 枚あります。
- 3 答えはすべて答案用紙の指定のところに記入しなさい。
- 4 アルファベット文字や数字は、1 マスに 1 字で記入しなさい。
- 5 問題紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

I 以下の文章を読み、すべての問いに答えなさい。

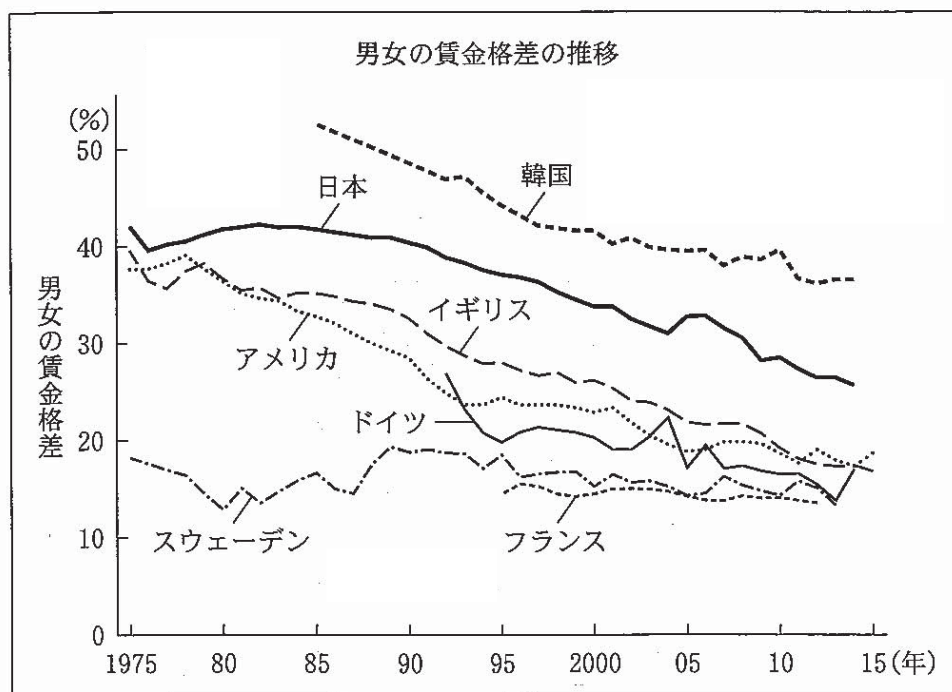
日本における男女の不平等は、世界的に見ても深刻な水準にある。賃金、雇用、家事労働負担など、市民生活のあらゆる側面において、男性は女性に対して優位に立っている。世界経済フォーラム(WEF)が2006年以来毎年発表している男女格差指数(Gender Gap Index)において、日本は下位の常連であり、2016年の順位は144カ国中111位であった。なぜ、日本はこれほど男女の地位が不平等な国なのだろうか。

出典：前田健太郎(2017)「男性の行政学からの脱却—ジェンダーの主流化の構想—」『季刊行政管理研究』第159号，14頁を一部省略，改変の上，引用

問1 資料1が示すとおり、アメリカやイギリス、スウェーデンといった諸外国と比べ、日本における男女間での賃金格差は大きい。なぜこのような現象が日本で生じているのか。考えられる賃金格差の要因を、資料2から資料4までの統計データを基に300字以内で述べなさい。

問2 日本において男女間での賃金格差を改善するためには、どのような具体的施策を政府や企業が講ずるべきかを、200字以内で述べなさい。

資料 1

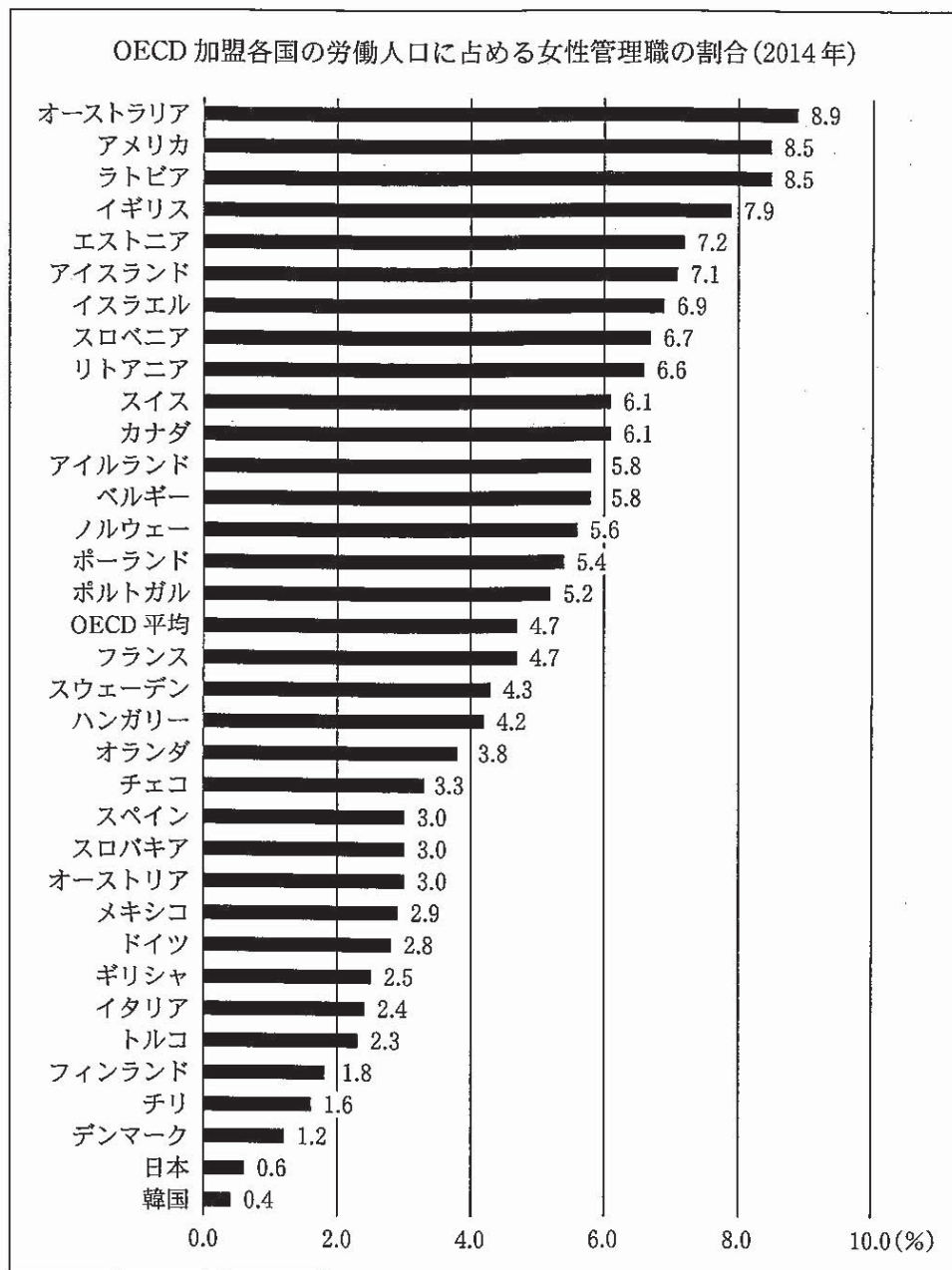


出典：前田健太郎(2019)『女性のいない民主主義』岩波書店，36 頁，図 1-1 を引用

注

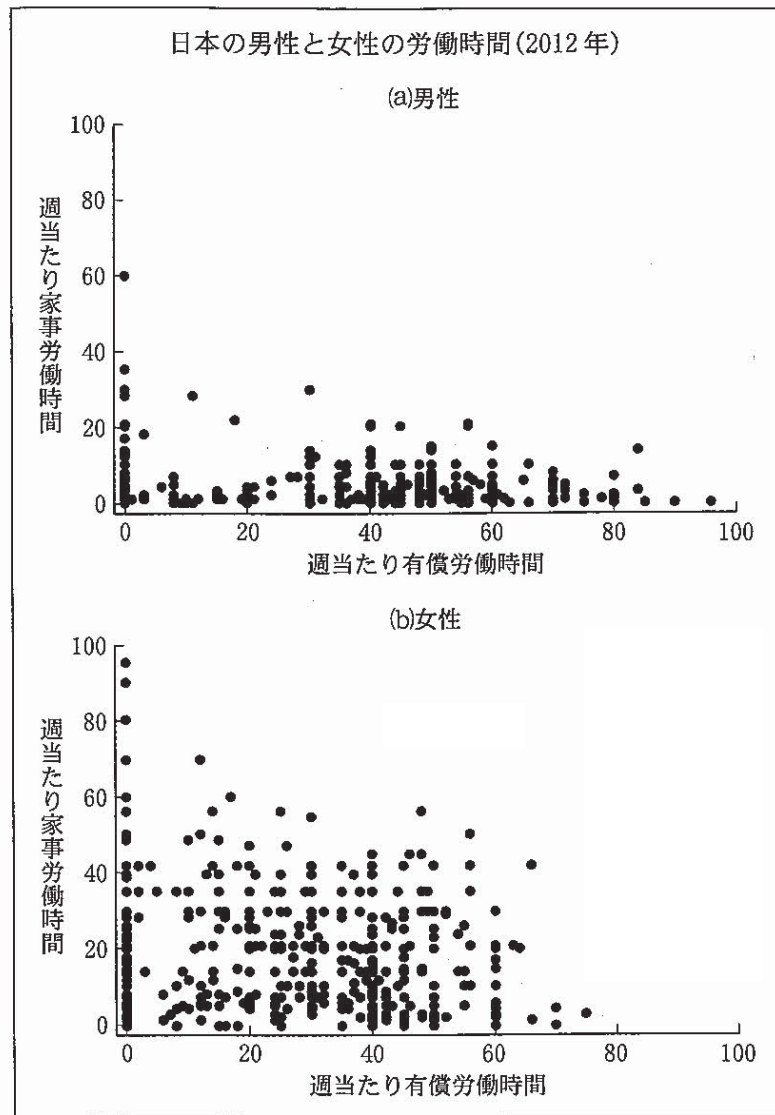
- (1) OECD.Stat に基づくデータである

資料 2



出典：OECD.Stat を基に作成

資料 3

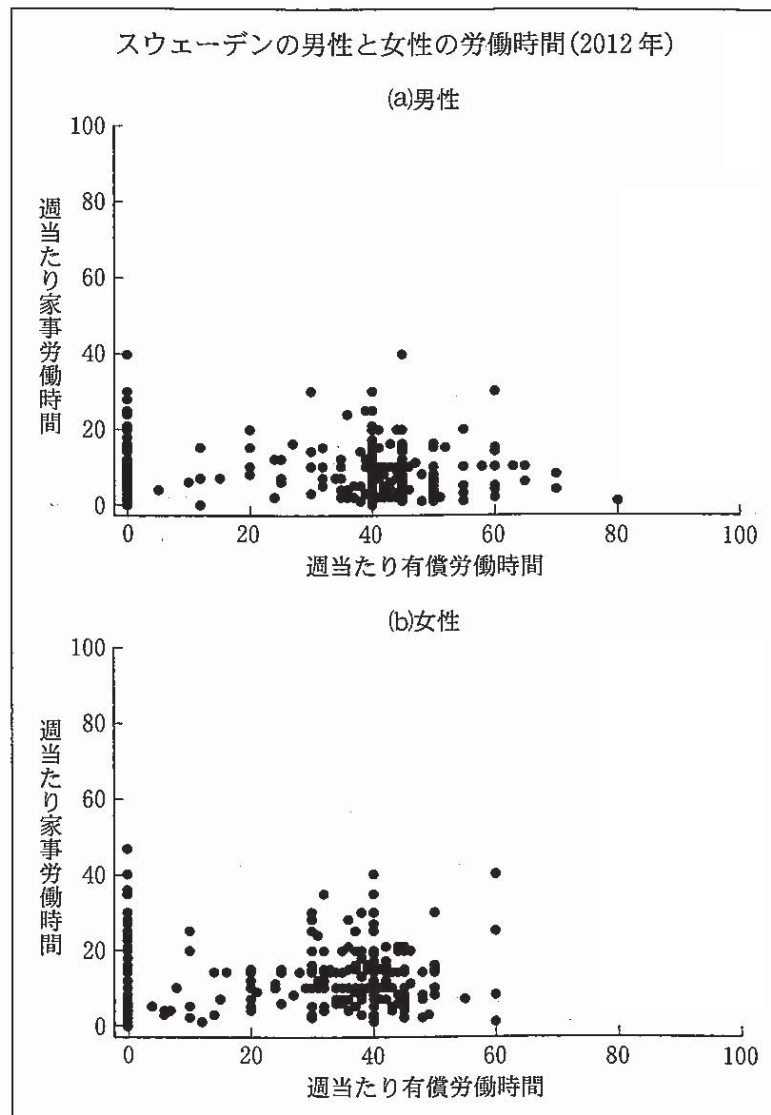


出典：前田健太郎(2019)『女性のいない民主主義』岩波書店，128
頁，図3-2を引用

注

- (1) 国際社会調査プログラムの2012年調査のデータに基づいて、各調査回答者(日本の男性と女性)の分布を示している

資料 4



出典：前田健太郎(2019)『女性のいない民主主義』岩波書店，130
頁，図3-3を引用

注

- (1) 国際社会調査プログラムの2012年調査のデータに基づいて、各調査回答者(スウェーデンの男性と女性)の分布を示している

Ⅱ 以下の文章を読み、すべての問いに答えなさい。

SDGs は「Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標」の頭文字を取った略語である。2015 年 9 月の国連サミットで採択された、2030 年までの国際目標である。

「誰一人取り残さない」と宣言し、日本を含むすべての加盟国が持続可能な社会の実現を目指している。経済、環境、社会などの分野で 17 の目標があり、その下に 169 のターゲット、232 の指標を設定している。2015 年までの MDGs「Millennium Development Goals：ミレニアム開発目標」の後継に位置づけられている。

SDGs が掲げる 17 の目標	
1	貧困をなくそう
2	飢餓をゼロに
3	すべての人に健康と福祉を
4	質の高い教育をみんなに
5	ジェンダー平等を実現しよう
6	安全な水とトイレを世界中に
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8	働きがいも経済成長も
9	産業と技術革新の基盤をつくろう
10	人や国の不平等をなくそう
11	住み続けられるまちづくりを
12	つくる責任つかう責任
13	気候変動に具体的な対策を
14	海の豊かさを守ろう
15	陸の豊かさを守ろう
16	平和と公正をすべての人に
17	パートナーシップで目標を達成しよう

出典：『日本経済新聞』（2019 年 12 月 2 日朝刊）

一部省略・改変の上、引用

問 1 この国連の宣言をきっかけとして、近年、世界各国で SDGs への関心が高まっています。この関心の高まりの背景としては、「誰一人取り残さない世界」という言葉に象徴される SDGs の発想の新しさを挙げることができます。SDGs の発想には具体的にどのような新たな合意が含まれているのでしょうか。SDGs の 17 の目標を念頭に置いた上で、資料 1 の中から適切な箇所を引用しつつ、200 字以内で述べなさい。

問 2 資料 2 の新聞報道にみられるように、各国の環境対策への批判的な意見があります。あなたは、この資料 2 のグレタ氏の主張をどのように考えますか。グレタ氏の主張への賛否を明確にした上で、その理由を示しながら、あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。

資料 1 SDGs は MDGs の後継に位置づけられているが、両者はいくつかの点で異なっている。以下の文章は、関正雄氏の論文「“自分事”として考える SDGs」の中から SDGs の特徴について言及した部分を抜粋したものである。

SDGs が、MDGs が採択された 2000 年当時と大きく事情が異なるのは、2015 年にパリ協定が採択されたことです。パリ協定では、グローバルゴールとして産業革命以降の気温上昇を 2℃ 以内に抑えること、そのために全ての国が真摯に最大限の努力をすることが合意されました。今世紀後半までに低炭素社会を超えた温室効果ガス実質排出ゼロの「脱炭素社会」を作ることまでもが共通目標に据えられたのです。京都議定書のような、先進国だけに削減義務を課すものではなく、削減目標を各国別に指定し義務付けるものでもありません。その代わりに、パリ協定は、世界全体での到達目標を明示し、達成に向けて全ての国に努力を義務付けた、新たな制度設計に基づく合意です。

しかし、この合意は第一歩にしかすぎません。現状での各国の自主削減目標を積み上げても、2℃ 目標達成に必要な削減量にははるかに届かないのです。脱炭素社会実現への努力を各国が今すぐ格段と加速させなければ、今世紀末までに最悪の

シナリオでは4.8℃の気温上昇を招いてしまうと、世界の科学者は「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書」で警告を発しています。

残念ながら、既に気候変動は現実のものになってしまっています。2018年7月、西日本各地を中心にこれまでにない広域で多くの痛ましい犠牲者を出した、私たちがこれまで経験したことのない記録的豪雨は記憶に新しく、温暖化による海面温度の上昇によって水蒸気の蒸発が盛んになれば起こると予想されていた事態は現実のものとなってしまいました。当時の気圧配置などの「科学的な」直接的因果関係の説明だけで納得せずに、背景に何があるのか、今、地球にどんな異変が起きているのか、その根本的な原因は何か、さらに長期的にみると今後何が起こるのか、そして私たちは何をすべきか、想像力を働かせて真剣に考えるべきでしょう。

今後も各地で増加するであろうこうした激しい降雨、台風の強大化、その他極端な気象事象など、気候科学者の予測が的中して欲しくはありませんが、事態はもはや単なる地球温暖化ではなく、まさに気候変動であり、生態系や水、農業、健康、安全と防災などあらゆる面で今後ますます深刻な事態が予想されています。気候の危機は身近に迫っているのです。

IPCC 報告書やパリ協定が示唆しているのは、これまでの地道な削減努力の継続では十分でなく、長期的な温室効果ガスの大幅削減には抜本的な対策が必要で、社会経済システムが様変わりするほどの大変革、すなわちトランスフォーメーションが求められるということです。

出典：関正雄(2018)「“自分事”として考えるSDGs」、松本直樹(編)『KINZAI Financial Plan』No.403, 9月号, 20頁を一部省略・改変の上, 引用

資料2 「『排出削減』首脳叱るグレタ・トゥンベリ氏(環境活動家)」

「各国の指導者には未来といまの世代を守る責任がある」。第25回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP25)が開かれたマドリードで12月上旬、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリ氏(以下、グレタ氏)は温暖化対策を要求するデモに参加し、こう訴えた。トランプ米大統領らにも堂々と主張してきた少女を、米誌タイムは「今年の人」に選んだ。

温暖化ガスの排出量が多い飛行機の利用を批判し、COP25に参加する際も滞在していた米国の東海岸からリスボンまでヨットで移動した。約3週間かかった。「海は荒れ気味だったけど、幸せでした」。大西洋を渡る様子は連日、ツイッターに投稿された。

15歳だった2018年夏、平日からスウェーデン議会の外で「気候のための学校ストライキ」と称して気候変動対策の徹底を訴え、注目を集めた。政治家に行動を迫る姿はSNSを通じ、世界の若者らに影響を与えた。

5月の欧州議会選では環境対策を優先する「緑の党」系の政党が躍進した。欧州メディアはこれを「グレタ効果」と呼んだ。12月に新体制が発足した欧州連合(EU)は環境政策に一段と傾斜する構えをみせている。

グレタ氏が再び脚光を浴びたのは9月下旬、ニューヨークで開催された国連気候行動サミットでふるった熱弁だった。「私たちは大量絶滅のとば口にいる。でも、あなたたちが話すのはお金のことや経済発展が続くというおとぎ話ばかりだ」。声を震わせ、有効な対策を打ち出せない各国の首脳らを叱りつけた。

敵役となったのは「米国第一」の姿勢で、石炭や石油といった旧来型エネルギー産業を重視するトランプ氏だ。ニューヨークにおけるグレタ氏の演説を聞き、ツイッターで「明るく素晴らしい未来を夢見る幸せな若い女の子だ」と皮肉った。11月には温暖化防止の国際枠組み、パリ協定からの離脱を国連に通告した。

出典：『日本経済新聞』(2019年12月27日朝刊)一部省略・改変の上、引用

Ⅲ 以下の文章を読み、すべての問いに答えなさい。

グローバル・ヒストリーの潮流が、今、大きく高まりつつある。その動きの中心となっているアメリカでは、大学、高校の歴史関係の教員が協力し合って世界史協会(The World History Association)を設立し、機関誌の発行や国際大会などさまざまな取組みをしている。日本でも、近年グローバル・ヒストリー関連の書が続々と日本語に翻訳され出版されるようになってきた。高校の歴史教員を巻き込んでグローバル・ヒストリー教育の普及をめざした試みをおこなうところまでできている。

グローバル・ヒストリーとはなんであるのか、従来の世界史とどう異なるのか。
(中略)グローバル・ヒストリーの特徴をみていくことにしたい。

グローバル・ヒストリーの第一の特徴は、あつかう時間の長さである。これまでであれば考古学の範囲であった有史以前の人類の誕生から現在までをあつかうことはもとより、場合によっては宇宙の誕生までもが対象に含まれる。例えば、クリスチャンの『時間の地図―壮大な歴史への序章』は、宇宙の創生から始まり、生物の誕生、種としての人類の特殊性、人類の進化、農業の出現から農業文明をあつかう諸章をへて、ようやく「近代」(modern era)として紀元 1000 年以降の時代があつかわれる。また、そのような人類を地球環境の一つの要素としてあつかう研究においては、自然科学系の学問的手法がしばしば援用される。そうした宇宙史や人類史全体をカバーするほどでなくとも、多くの場合、数世紀にわたる長期的な歴史動向があつかわれることが多い。歴史をいかに巨視的にみるかに関心があるからである。

第二の特徴は、対象となるテーマの幅広さ、空間の広さである。(中略)従来の歴史研究ではほとんどあつかわれることのなかった分野に対象が拡大し、歴史変動におけるそれらのはたした役割の重要性に目を開かされることになる。また、対象空間も、ユーラシア大陸やインド洋世界というように、陸域、海域全体の構造や動きを問題とすることが多い。一国史と呼ばれるような一つの国に限定された分析で終始することはなく、たとえ小さな地域を事例として取り上げたとしても、より広域の諸関係のなかに事例を位置づけるということが意図される。

第三の特徴は、従来の歴史叙述の中心にあったヨーロッパ世界の相対化、あるいはヨーロッパが主導的役割をはたした近代以降の歴史の相対化である。そこでは、しばしばヨーロッパの歴史的役割や先進性の意味が再検討され、それとの対比で、従来重視されてこなかった非ヨーロッパ世界の歴史や、そこでの歴史発展のあり方が重視される。このことは、「東アジアの奇跡」と呼ばれるような日本をはじめとする東アジア諸地域の急速な経済成長や、中国やインドの近年の経済大国化という現実の世界での劇的な変化が、過去の歴史過程にかんする解釈の見直しを迫ったということの裏返しの現象であろう。

第四の特徴は、たんなる地域比較で終わるのではなく、異なる諸地域間の相互連関、相互の影響が重視される点である。例えば、あるモノや制度が、ある地域でどのように生み出されどのような役割をはたしたかということだけではなく、それらをつうじて諸地域が相互にどのような連関した歴史的動きを示したかという点が重視される。

第五のもっとも重要と思われる特徴は、あつかわれている対象、テーマが、従来の歴史学ではほとんど取り扱われてこなかったものが多く、歴史学に新たな視角をもたらすものであることである。従来、戦争や政治、経済活動、宗教、文化などがおもなテーマであったのにたいして、疫病、環境、人口、生活水準など、われわれの日常に近い、しかし社会全体や歴史変動のあり方全般にかんする重要な問題が新たに取り込まれている。従来の歴史学に慣れ親しんできたわれわれにとって、新たに目を開かせるテーマが多く、魅力あふれるものであることは、そのいくつかに目をとおせばただちに実感しうるであろう。

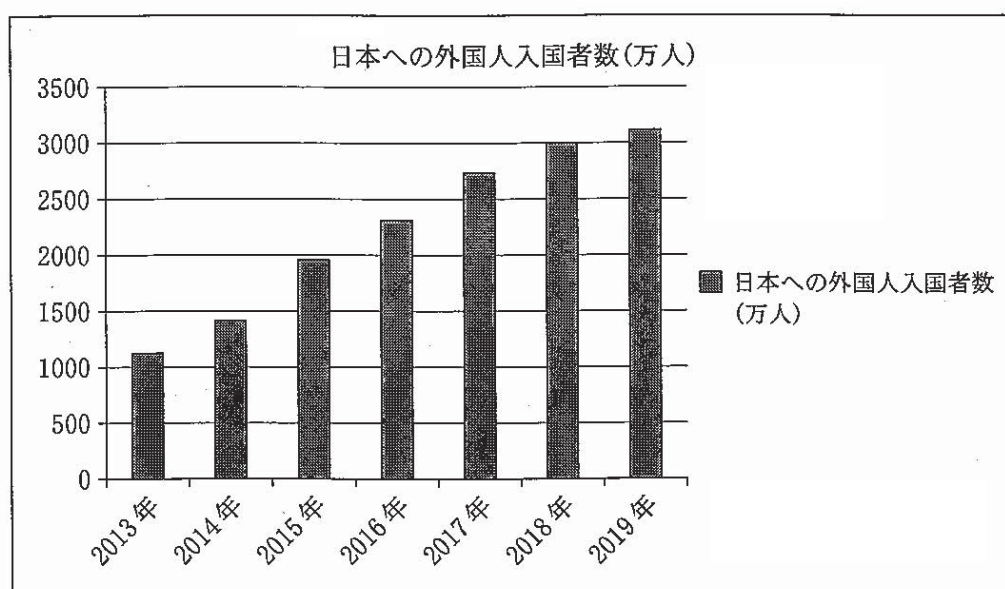
以上のグローバル・ヒストリーの特徴を従来の歴史学と比較すれば、それがなぜ多くの歴史関係者の関心をひいているかが明らかになるとともに、従来の歴史学のあり方をどのように変えていくことをめざしているかが理解されるであろう。

出典：水島司(2010)『グローバル・ヒストリー入門』山川出版社、1頁から4頁までを一部省略・改変の上、引用

問 1 グローバル・ヒストリーの特徴としては、「あつかう時間の長さ」や「空間の広さ」が挙げられます。これらは、具体的にはどのようなことですか。また、こうした特徴にはどのような問題点があるとあなたは考えますか。文章の内容を踏まえ、合わせて 200 字以内で述べなさい。

問 2 現代の日本社会において、グローバル・ヒストリーを学ぶことにはどのような意義があると考えられますか。以下の資料 1, 2 を参考にしながら、あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。

資料 1



出典：法務省統計並びに「法務省：令和元年における外国人入国者数及び日本人出国者数等について(速報値)」より作成

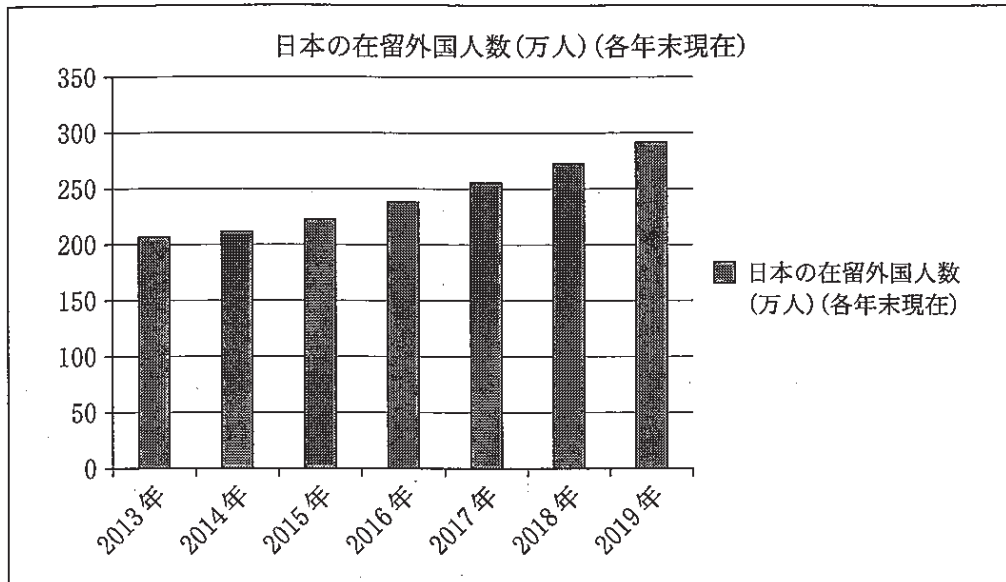
http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_gaiyou_index.html

(2019 年 12 月 29 日閲覧)

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri_04_00001.html

(2020 年 9 月 4 日閲覧)

資料 2



出典：法務省統計並びに「法務省：令和元年末現在における在留外国人数について」より作成

http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_gaiyou_index.html

(2019年12月29日閲覧)

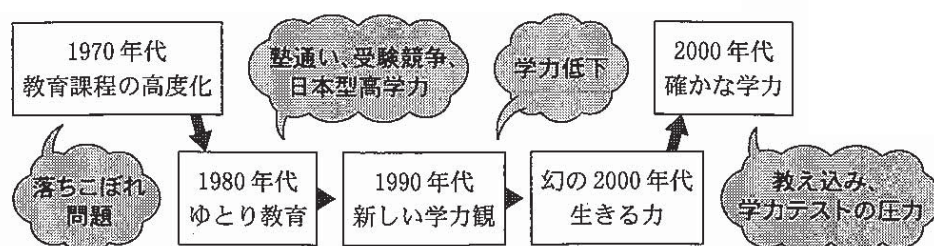
http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri_04_00003.html

(2020年9月4日閲覧)

注

- (1) 在留外国人：3か月を超えて日本に滞在する外国人のこと。

Ⅳ 以下の文章を読み，すべての問いに答えなさい。



まず，四角囲みに注目してほしい。これは，それぞれの時期における学力政策の基調を示している。このかんの40年あまりの学力政策の歴史は，まさに振り子のように，「学力向上」のがわからスタートし，つぎには「ゆとり」のがわに振れ，再度「学力向上」のがわに戻ってきた。（中略）

ただし，注意すべき点がある。それは，1980年代以降の学力論は，2000年代の「確かな学力」も含めて共通して，子どもたちの「学ぶ意欲」や「自ら思考し，判断する力」を重視しているということである。

1970年代の学力論は，当時における科学技術の発展を背景として，子どもたちには必要な知識を修得してもらおうという，いわば「知識修得型」の学力観を背景としていた。これと対比すれば，その後の，とりわけ1990年代以降の学力論は，子どもたちのみずから学んでいく力，いわば「学ぶ力」を学力の基礎におく学力観に立っている。

変化の激しい現代社会，知識やスキルの更新の速度が加速されていく21世紀の「知識基盤社会」を生き抜いていくためには，そうした「学ぶ力」が不可欠だからである。そして，このことは，「確かな学力」政策もけっして否定することはできないし，実際に否定もしていない。（中略）

先のイメージ図に戻ろう。四角囲みをした各時期の学力政策の近くには，それぞれ吹き出しがつけてある。それぞれの時代に子どもたちが直面し，社会的にも問題化した現象である。（中略）

これを見ると，おのおのの時代では，学力政策が振り子のどちらがわに振れようとも，子どもたちの実態のところには，つねに「矛盾」や「しわ寄せ」がおしつけられていたことがわかる。

出典：児美川孝一郎(2015)『まず教育論から変えよう—5つの論争にみる，教育語りの落とし穴—』太郎次郎社エディタス，133 頁から 135 頁までを一部省略・改変の上，引用

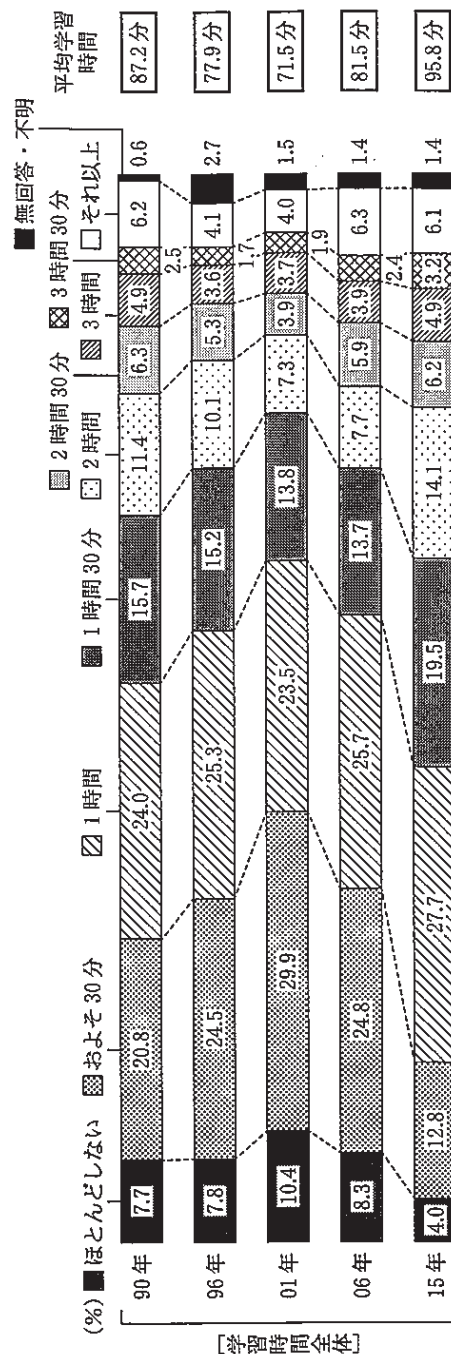
問 1 2000 年代の「確かな学力」政策への変更が行われた背景として，子どもたちをめぐるとどのような問題への危惧があったのかを，資料 1 と資料 2 を参考にしながら，200 字以内で考察しなさい。

資料 1

小学生の平日の学習時間

(1990 年, 1996 年, 2001 年, 2006 年, 2015 年調査)

Q 1 あなたはふだん(月曜日～金曜日), 家に帰ってから 1 日にだいたい何時間くらい勉強していますか。学習塾や予備校, 家庭教師について勉強する時間も含めてください。

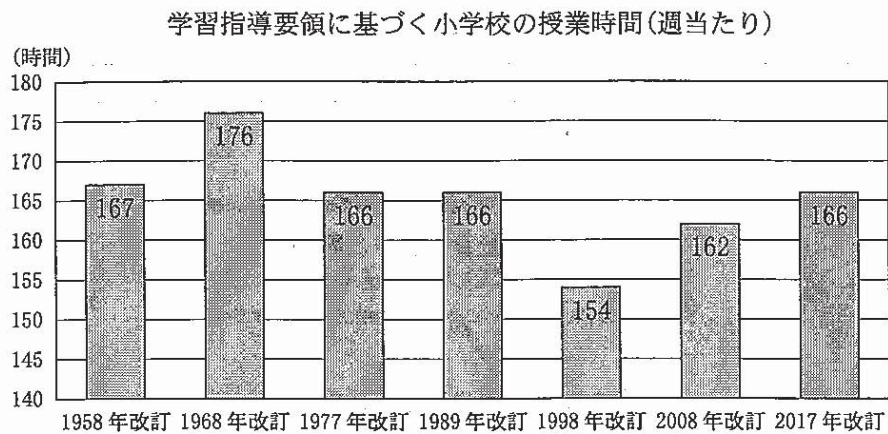


出典:『第 5 回学習基本調査 DATA BOOK』(2016)ベネッセ教育総合研究所, 10 頁より一部改変の上, 引用
https://berd.benesse.jp/up_images/research/5_kihonchousa_datebook_2015_p10-19.pdf (2020 年 8 月 7 日閲覧)

注

(1) 調査対象は小学 5 年生

資料 2



資料出所：各年度版の小学校学習指導要領をもとに作成

注

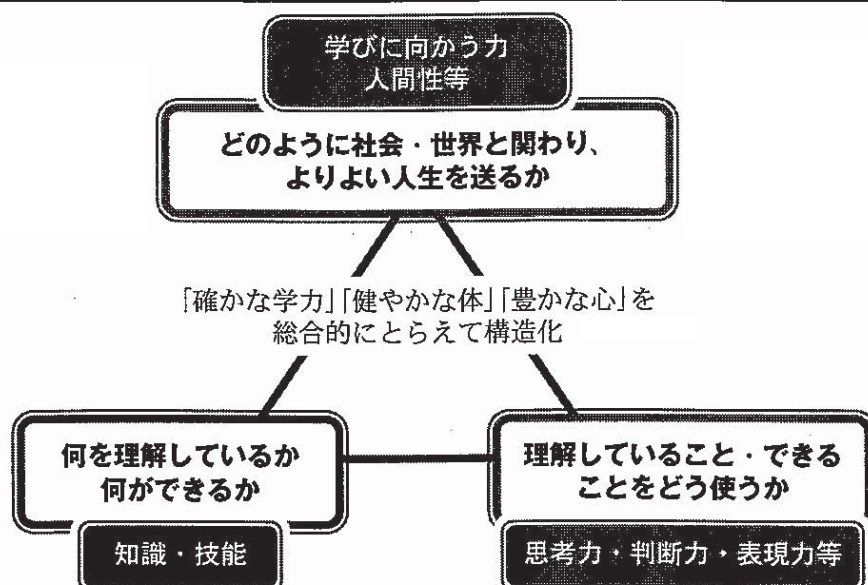
- (1) 学習指導要領とは、文部科学省(旧文部省)が定める教育課程の基準のこと
- (2) 表の数値は、第1学年から第6学年までの授業時数を足し合わせたもの

問 2 「確かな学力」政策以後、2017・2018年改訂の新しい学習指導要領では、資料3のような育成すべき資質・能力の三つの柱が示されています。この三つの柱と、資料4・資料5に示される学力観とを照らし合わせたとき、どのような共通点がみられますか。200字以内で述べなさい。

資料 3

新しい学習指導要領にみる資質・能力

育成すべき資質・能力の三つの柱



出典：文部科学省「平成 29・30 年改訂 学習指導要領，解説等 改訂のポイント
育成すべき資質・能力の三つの柱」

https://www.mext.go.jp/content/1421692_7.pdf (2020 年 8 月 7 日閲覧)

資料 4 「新しい学力観」

【新しい学力観に立つ学習指導の在り方】

これからの教育においては，これまでの知識や技能を共通的に身に付けさせることを重視して進められてきた学習指導の在り方を根本的に見直し，子供たちが進んで課題を見付け，自ら考え，主体的に判断したり，表現したりして，解決することができる資質や能力の育成を重視する学習指導へと転換を図る必要がある。

このような新しい学力観に立つ学習指導は，子供たちが自分の考え，夢や希望などの思いに基づいて，これまでの学習や生活の経験，よさや可能性などを生か

しながら、新しい課題などを見付け、自ら考えたり、判断したり、試みたり、表現したりして解決することを基軸にして展開する必要がある。その過程で、その後の学習や生活における新たな課題の解決に生きるように知識や技能を自ら獲得したり、高めたりする必要がある。このような資質や能力は、子供一人一人が自らのよさを生かして獲得したものであっておのずと個性的なものであり、豊かな自己実現に生きて働く力である。

出典：文部省(1993)『新しい学力観に立つ教育課程の創造と展開—小学校 教育課程一般指導資料—』東洋館出版社、9 頁から 10 頁までを引用

資料5 「生きる力」の育成

我々は、これからの学校像を次のように描いた。

まず、学校の目指す教育としては、

- (a) 「生きる力」の育成を基本とし、知識を一方的に教え込むことになりがちであった教育から、子供たちが、自ら学び、自ら考える教育への転換を目指す。そして、知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、豊かな人間性とたくましい体をはぐくんでいく。
- (b) 生涯学習社会を見据えつつ、学校ですべての教育を完結するという考え方を採らずに、自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」という生涯学習の基礎的な資質の育成を重視する。

出典：中央教育審議会第一次答申「21 世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(1996 年 7 月 19 日)、第 2 部第 1 章より一部抜粋

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chuuou/toushin/960701h.htm

(2020 年 8 月 7 日閲覧)

V 以下の文章を読み、すべての問いに答えなさい。

——物欲の上に立たない社会なんかがありますか。「信じていて絶対間違いのないことは、相手があなたの利益より自分の利益を優先させようとする事だ」とは私の友人の言葉ですが、私も確かにそうだと思います。

だが、このフリードマン⁽¹⁾の信念は恐らく間違っている。

まずもってこの社会は物欲の上に立ってはいまい。マザー・テレサの言葉を想起するまでもなく、僕は信じている。どんな金持ちもきっと心の奥底においては誰よりも貧しくなりたいと願っているのだ。乞食が王子になりたいだけでなく、王子こそが乞食になりたいのだ。

人間は自己の利益を他者の利益よりも必ず優先するという原則も、肝心な部分ではその真逆となる場合が往々にしてある。たとえば、明治維新最大の功労者だった西郷隆盛は、『南洲遺訓』の中で次のような有名な言葉を遺(のこ)している。

——命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ人は始末に困るものなり。この始末に困る人ならでは、艱難(かんなん)⁽²⁾を共にして、国家の大業は成し得られぬなり。

(中略)

人間という動物は自己の経済的利益に反する行動をむしろ平気で行う。復讐のために全財産どころか自らの命までを賭し、それでも歓喜の中に死んでいけるのが人間というものだ。

アメリカンプロレタリアート⁽³⁾の代表的哲学者エリック・ホッファーは、新大陸でフロンティアを切り拓いていったのが、ガラガラヘビがうようよいる土地に入っても「俺だけはヤツラに噛(か)まれやしない」と盲信する無謀な者たちの集団に他ならなかった点を指摘している。戦争の英雄たちも同様だ。彼らの大多数は、弾も死をも恐れることのできない狂人にすぎない。

第一次石油ショックに見舞われた70年代、社会から儲(もう)け過ぎだと非難されたトヨタ自動車の豊田英二社長は血相を変えてこう反論している。

「トヨタの事業は金儲けのためにやっているのではない。常に日本の産業振興に少しでも役に立つことを考えている。トヨタが考えている社会的貢献とは、お国のためにきちんと儲けて税金を払うことだ」

また、日本経団連の初代会長を務めた奥田碩は、トヨタ自動車会長時代にサムスン電子会長の李健熙に「企業の長期繁栄の秘訣(ひけつ)は？」と単刀直入に訊(き)かれて、

「企業の社会的使命は、社会貢献をすることです。国益と企業の目的を一致させれば、必ずその企業は発展します」

と明言している。

僕は、この世の中に問題が起こるのは、世の中そのものが不完全だからでも、人間そのものが不完全だからでもないのではないかと思っている。

むしろ、世界も人間も僕たちが想像している以上に完全なのだ。

経営者は株主の利益を考えれば考えるほど、株主の利益を離れて社会的責任に目覚めていく。別の言い方をすれば、自分の個人的道徳観を真実に達成するためには、フリードマンの言説とはまったく異なって、どうしても「他人の金」を使わねばならなくなってくるのだ。

この世界は、分離独立した存在や現象が各々非常に完成度を高めているために否応なく相互に絡み合い、それゆえに自他の区別がつきにくい複雑極まりない様相を呈している。個人の利益が全体の利益につながり得る可能性が著しく高いのだ。個人と全体とのあいだに利益相反が起きにくいということは、それだけ個人と個人との間の独立性が曖昧である証拠と言っている。つづめて言えば、ここはおしなべて「情けは人の為ならず」が貫徹する世界なのだ。

フリードマンがこよなく愛した「個人の自由」に大多数の人々がそれほど大きな価値を認めないのは、彼らが無知だったり愚かだったりするからではなく、「個人の自由」によって解決可能な人生上の諸課題がそれほど多くはないことをよく知っているからにすぎない。

これは経済活動においても同様だろう。

企業や個人の存分の経済活動が許され、政府や中央銀行の介入から市場がどれほどに自由であったとしても、それだけで我々の幸福が極大化することはあり得ない。

なぜなら、僕たちの幸福は、自由の中と同じくらいに束縛の中にも存在するからだ。

出典：白石一文(2009)『この胸に深々と突き刺さる矢を抜け 上』講談社，115 頁から 119 頁までを一部省略・改変の上，引用

注

- (1) フリードマン ミルトン・フリードマン。アメリカの経済学者。
- (2) 艱難 困難に出合って苦しい思いをすること。
- (3) プロレタリアート 資本主義社会における賃金労働者。

問 1 この語り手がフリードマンの信念を間違っていると思う理由を，200 字以内で述べなさい。

問 2 下線部では，個人の利益が全体の利益につながり得る可能性を示唆していますが，これを国家と国際社会の関係に当てはめた場合，どのような問題において利益の一致が見られるでしょうか。具体的な例を示しながら，あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。